

平成 28 年 2 月発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 土 11:00-17:00
close 日・祝(事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ 1F
TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126
URL:http://www.kodoh.co.jp

木童 神戸事務所 兵庫県神戸市北区大沢町篠 437
TEL:078-954-0072 FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★おさらい、木童の国産無垢床材

木童のショールームではすべてのサンプルと11年経過した床材をご覧になれます、広く張り上げた雰囲気や足触りを確かめにきてみませんか

寸法(L×W×Tmm)		摘要
針葉樹		
南波から松	3,800×105×12・15 3,800×130×15	長野産のから松、赤身材のみ、乾燥技術レベルが高く 105×12・15 は床暖房でも使用されています
北前ヒバ	3,900×105・120×12・15 3,900×180×30	能登産のヒバ(アテ・アスナロ)赤身材のみの製品での出荷が可能 なため、浴室内での使用が多い。また厚材の床材は存在感たっぷり
土佐栴	1,950×105・120; 150×	300年生以上の原木から作られた床板、木目が込み入り美しい表情が 人気、乾燥が難しく生産量が少ないため要在庫確認
岩見赤松	1,820×180×15	木童の新製品、赤松専門の製材所に加工スケジュールを教えて製品 化、無地のみ製品。統一感のある美しい張り上りが特徴。
賢健杉	3,900×135×15	使いやすい厚さ 15mm タイプ、軽軟な杉材としては厚さ 30mm の相生杉が お勧めだが床厚を確保できないリフォームなどで重宝されています。
相生杉	4,000×220×30	他の杉製品では見られない大きさで寸安定性が最大の売り、顧客満足 度も高く建設会社よりのリピートも多い。
木童桧	1,820×90・105・×12・15 節有材は 15mm のみ	死節抜け節の多い桧は埋め木を多用しますが、木童桧の節有材は極力 埋め木の無い板を選び製品化しています。無地上小材も有ります
広葉樹		
南部クリ	450mm 以上の乱尺 ×90・120・150×15	巾 90mm は床暖房の物件に多く使われるぐらい安定性に優れています。 また、他の材のような色差がなく統一感のある仕上がりになります。
みちのおく 山桜	450mm 以上の乱尺 ×90・120・150×15	カバザクラなどはサクラに似ているカバ材でありこれは本物のサクラ 材、黄金色がかかった色目が美しい。
館くるみ	450mm 以上の乱尺 ×90・120・150×15	輸入材のウォルナットと木目はほぼ同じだが、少し柔らかな温かみの ある手触りと国産材に少ない濃い目の色が特徴
奥州 ほうのき	450mm 以上の乱尺 ×90・120・150×15	他の樹種にない緑色味がかかった色調が味わい深い一品、硬さも中程度 で硬すぎないさらとした足触りで好評です。
道産夕モ	450mm 以上の乱尺 ×75・90・120×15	野球バットの素材としても使われる適度な弾性の有る樹種、家具や 枱材などでも多用される。75・90mm 巾は床暖房でも使用可能です
道産なら	450mm 以上の乱尺 ×75・90・120・150×15	硬くしっかりした足触りの床として定番中の定番、広葉樹では珍しく 節有材(幅広材)も選べます。75・90mm 巾は床暖房でも使用可能です
道産かば	450mm 以上の乱尺	多くある広葉樹の中で芯材がピンクから赤の硬い床材、白っぽい色の
道産いたや	かえで ×75×15	いたやかえで、穏やかなピンク色と肌色のかば、濃い赤色と肌色のあ
道産あさだ		さだと見比べ選ぶのも楽しいです。

床は家の中で唯一、常に体の一部が触れているアイテムであり、一番気を付けて選択するところかと思えます。住環境を整えてくれる無垢材の床に絞って選び方の一例を示させていただきます。

◆無塗装品、もしくは植物油性のオイル塗装品を選びましょう。

部分補修が可能です。キズや凹みは直せます。また無垢材の一番の利点である調湿機能も妨げません。オイル塗装だと自分自身でも塗る事もできるので、楽しみながら建築費用を少し下げることが出来ます。

◆適材適所で選びましょう

例えば水回りには、北前ヒバ。外回りには腐食に抵抗力のある針葉樹の赤身材やクリ材、LDKは生活スタイルに合わせて硬くない床、硬い床、そして好みに合わせて選ぶと良いでしょう。

★家づくり現場れば① 設計：BUILTLOGIC 施工：匠陽

すっきりとしたデザインで快適且つ多機能的な空間をいつも提案しているBUILTLOGICさんの住宅です。今回のM邸は内装の壁は漆喰で白を基調に、無垢材の床となっています。木童からは床に「南波からまつ」、階段とキッチンカウンターに「からパネル」を使用しています。

BUILTLOGICさんには一昨年から沢山の「南波からまつ」の床を使用して貰っていますが、価格と品質を実感して貰ったのかなと思います。「南波からまつ」は、唐松という暴れると定評のある木を赤身だけを選び卓越した乾燥技術と一枚一枚丁寧に作る職人の心があるからこそ、選び続けていただいている製品になっています。これからも品質を大切に考えて送りだしてゆきますので、よろしくお願ひいたします。



から松の床材とからパネルのカウンター、赤身で揃っているので節がそれほどさくくない



から松の床材とからパネルの段板、三層の木口をそのまま見せているがそれがデザインとなり美しい

★家づくり現場れば② 設計：高橋圭吾建築設計事務所 施工：あかい工房

大きな吹き抜けと大きな開口で開放感あるデザインながらも、工場にて制作した断熱壁パネルのおかげで、快適な冬を迎えることができたM邸
構造材に始まり、床材、枱材、壁材等、そのほとんどに杉を使用していますが、同じ杉でも5箇所以上の林産地のものを、それぞれ適材適所に使い分けています。デザインにこだわり、木にこだわりながらも次世代省エネ基準を満たした、かしこい高性能住宅となりました。



大吹抜けの壁を利用したライミングウォール



開放感ある開口部

★産地を訪ねて～in徳島その②～

木童の人気商品である相生杉。今回は、伐採風景をお伝えしました。続いては、製材加工工場へ。専用の機械で4000×220×30mmの床板に変身する「製材」を見学。一瞬でスッとカットする姿は気持ちが良いです。節が少ない良い部分のみを厳選した1本の丸太から床材として使われるのは、なんと2枚のみとの事。とても贅沢な床材だとわかりました。

さらに、手触りをよくするために床材にモルダートを通して仕上げる「プレーナー仕上げ」も見学。通常4面プレーナー仕上げが多いのですが、平井製材所はモルダートを2回通して仕上げています。理由は、ねじれ狂いがピタッと止まり貼った後に収縮もなく、すきにくくする為です。

手間暇かけて作られている背景を知り、相生杉の魅力を多くの方に伝え使っていただきたいと思いました。価格も¥9380/m²なので、国産無垢材において適正な価格ではないでしょうか。確かに、安さを追求すればいくらでも安い床材はあります。しかし、相生杉は質が違います。そして産地の方々の想いがあります。せっかく毎日過ごす場所なので、見た目も機能も優れ、長く使える…価値に見合った床材をぜひ使っていただきたいです。



KODOH NEWS

企画展のご案内 [木童オペラシティショールーム内]

1/30・2/6(土)は無料住宅相談開催新築、リフォーム、都市部の薪ストーブの使用等々、どんなことでもお気軽にどうぞ。

■第206回企画展 2/8(月)～20(土)

「床暖房と無垢の床について。」 木童オリジナル展

■第207回企画展 2/22(火)～2/27(土) NPO 法人木の家だいきの会
アトリエヌック/新井駿・勝見紀子

■第208回企画展 3/7(火)～3/19(土) 長久保健二建築事務所
1/16・23(土) 事前予約にて無料住宅相談開催

■第209回企画展 3/22(月)～3/26(土) NPO 法人木の家だいきの会
アトリエ海/中村展子

※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。